

地域の持続的な活力源としてのポピュラー文化やライブ・エンターテインメントに関する研究

研究分野: 社会学

キーワード: ポピュラー文化、ポピュラー音楽、メディア文化、ジェンダー、地域研究

貢献できるSDGsの区分:

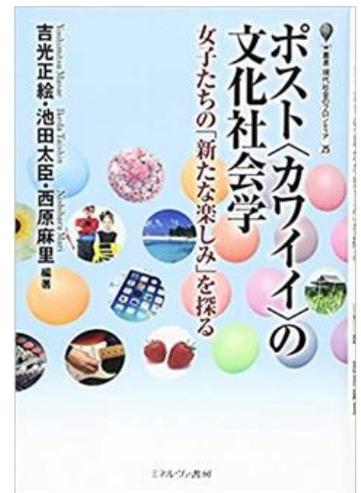


国際社会学部 国際社会学科 教授 吉光 正絵

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/my/>

研究概要

- ①インターネットやソーシャルメディア、スマートフォンなどの普及は、世界中のメディア文化を手軽に楽しむことを可能にしました。現代では、好きなメディア作品の感動や自分なりのライフスタイルを発信し世界中の人々と共有することが可能になっています。
- ②これまでは、現代の女性たちがメディア作品や文化商品を利用して個性的で新しい遊びや楽しみを作り出し、国や地域を越えたネットワークを作り上げていることに関心を持ち、研究活動を行ってきました。
- ③代表的な成果としては日本の〈カワイイ〉文化、J-POPやK-POPといったポピュラー音楽を好む多様な国の女性たちのファン文化に関する研究があります。これらが多様な国や地域に住む若者たちの間で共有され相互に影響を与えあっていることを明らかにしてきました。
- ④現在は、地域の持続的成長のためのライブ・エンターテインメント観光の資源化に関する研究を行っています。



産学連携の可能性(アピールポイント)

エンターテインメント産業や観光産業は、コロナ禍によって大きなダメージを受けました。

しかし、人々の消費対象がモノからコトへと変化し、「楽しい体験」に価値を置く動向はより一層強くなったのではないかと考えられます。

こうした楽しい体験消費の主人公である女性たちの感性について実証的に研究することは、観光産業の活性化だけでなく、それをきっかけにした移住や国際交流といったより広範な人の移動、関連する産業の活性化につながると考えています。

外部との連携実績等

- ①「観光資源としてのライブ・エンターテインメントの「楽しさ」と課題に関する研究」JSPS 科研費(20K12405)による助成(2020年度から2022年度)
- ②「新上五島町ポータルサイト『みっか』拡充事業」新上五島町と長崎県立大学との相互協力協定事業(2012年度)